



# 岐阜陸上競技協会広報

**第3号**

平成28年7月2日発行

**一般財団法人 岐阜陸上競技協会**事務所／〒502-0841 岐阜市学園町3-49 仁科ハイツA102  
TEL (058) 294-6494 FAX (058) 294-6491  
E-mail gifurik-jim@rhythm.ocn.ne.jp

## 「平成28年度スタートにあたって」

会 長 田 口 利 正

広報第2号にも御礼申し上げましたが、27年度は岐阜県開催の全国大会のラッシュでした。そこで今年度は「充電」と「反省」の年、即ち初心に返る年と考えております。

地味な年になるかも知れませんが、この1年で全員が競技運営面は当然のこととして規律面、道徳面等すべての分野で自分を見直していただきたいと思います。

また今年は岐阜陸協発足70周年を迎える年でもあります。将来に向かって風通しの良い岐阜陸協であってほしいと思います。「喜び」を分かち合うのは当然ですが、「失敗」を批判ではなく検討して、しっかり原因究明した後に全員の「宝」として認識し、今後に生かす柔軟な気持ちを持ってもらいたいと思います。

日本陸連も他県の陸協も岐阜陸協の運営力を高く評価していただいております、近々に日本陸連より国際大会の要請があると聞いております。それに応えるためにも、意義ある1年にしていきたいです。

最後に、高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソンも第6回を終え、先輩丸亀ハーフマラソンと同等の、いやそれ以上の世界大会になりました。これも全て皆さんが力を結集させた賜です。ありがとうございました。

### 【ひとりごと！】

現名を高橋尚子杯世界ハーフマラソンと改名してはどうかと思っています。県内で唯一の世界大会を陸上競技だけが毎年続けている事を県民の、そしてそれ以上に岐阜陸協会員のほこりにしたいと考えます。今年も全員の力で頑張りましょう！



## 「2016開幕」

専務理事 黄 倉 寿 雄

2016年は4月2日の普及記録会をかわきりに例年より一週間早く始動しました。普及記録会とはいえ参加した選手たちの意欲も例年にも増して高く感じられ本格的なシーズンインにむけて期待が膨らむ記録会となりました。

昨シーズンは、第63回全日本実業団陸上競技選手権大会、第36回全日本マスターズ陸上競技選手権大会を開催するにあたり、協会の役員審判をはじめ関係者の皆様に多大なるご協力をいただき成功のうちに大会運営を終えることができました。心より深く感謝申し上げます。そして、本年度も本協会の開催事業にご支援ご協力をお願いいたします。

昨年度を一言で表せば「展開の一年」であったと思います。対して本年度は「まとめの一年」になるのではないかと思います。理由として7月(第81回岐阜県陸上競技選手権大会初日)に岐阜陸上競技協会70周年記念式典が挙行され節目に当たること、また本年が法人化2期目の陸協役員の改選年にあたっていることが挙げられます。

さて、本年から新たに始まる事業として小学生の登録制度と岐阜県小学生陸上競技選手権大会の開催があります。岐阜陸協の目的の一つに競技力の向上が挙げられます。強化委員会が中心になり選手強化に取り組み、先のぎふ清流国体では46年ぶりの競技別男女総合優勝を果たしました。以来、成年の選手を中心に一定の戦力を維持し中高生の強化成長を感じながら国体、都道府県対抗男女駅伝に取り組んできました。その結果、さらなる成績向上を目指すためには強化普及の連携、競技人口の拡大が重要課題であることを再確認し小学生陸上の普及を積極的にすすめることとなりました。年齢・体力の発達を考慮しながら種目の配置や実施方法を慎重にすすめる将来性のある選手を発掘できる大会に成長させたいと考えています。一人でも多くの小学生の登録と大会参加推奨に協会会員の皆様の協力をお願いいたします。

最後になりましたが、今年は、リオ五輪の年、日本中がスポーツに関心の高い年です。日本選手権をはじめ全国中学、全国高校、全国大学選手において本県の選手が昨年以上に活躍されることを期待しています。

## トピックス

## 飛騨陸上競技協会創立50周年記念式典開催される

平成28年(2016年)5月4日(水曜日) 岐阜新聞 朝刊 018ページ

芳朗市長は飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアを例に「飛騨には優秀な選手を育てる土壌がある。五輪を目指して」と激励した。同協会を支援してきた団体・企業に感謝状が贈られ、歴代役員ら10人に功労章の表彰が行われた。

(青木政浩)

感謝状、功労章を受けたのは次の通り。

【感謝状】高山市、高山市体育協会、岐阜新聞社、高山信用金庫、飛騨信用組合、飛騨農業協同組合、十六銀行、山梨県、トエネック、高山営業所、ファミリーストア、どうも飛騨市、上和建設、塚中栄興、山ノ内、馬ノ下、赤梅、今井、武藤利久、熊崎康、熊崎定義、桂本寛明、飛騨市、猪俣博

岐阜新聞 5月4日掲載より

**飛騨陸協、一層発展を**

高山市50周年式典で功労者表彰

飛騨地区陸上競技協会(藤森昌史会長)は、創立50周年記念式典を高山市山田町の中山公園陸上競技場で開き、一層の発展を目指して新たなスタートを切った。

式典は、飛騨地区春季陸上競技記録会兼県高校総体飛騨地区予選会(3、4日、同競技場)を前に開かれ、出場選手らも出席した。藤森会長は「当時の協会の田口利正会長は、小中学生や高校生

の選手を前に「陸上競技を通過して自分自身にほしい」と述べ、



藤森昌史会長(左)から功労章の表彰を受ける皆さん  
＝高山市山田町、中山公園陸上競技場

## 専門委員会報告

## 総務委員会

## 1.平成28年度事業計画

| 月 日    | 曜日 | 会 議 名                        |
|--------|----|------------------------------|
| 4月23日  | 土  | 高橋尚子マラソン主任者会議                |
| 5月 7日  | 土  | 高橋尚子マラソン走路委員会                |
| 5月28日  | 土  | 第1回理事会                       |
| 6月11日  | 土  | 評議員会                         |
| 8月13日  | 土  | 第2回理事会                       |
| 10月15日 | 土  | 清流郡市対抗駅伝主任者会議<br>監督会議・開会式    |
| 12月11日 | 日  | 第3回理事会<br>栄章審査会              |
| 12月17日 | 土  | 2016B級公認審判員講習会<br>第1回競技会要覧会議 |
| 2月11日  | 土  | 第2回競技会要覧会議<br>審判講習会          |
| 3月 4日  | 土  | 栄章表彰<br>第4回理事会               |

## 2.平成28年前期トピックス

## ■第1回小学生選手権大会開催／6月12日(日)

今年から小学生4年生から6年生の選手は岐阜陸上競技協会登録をすることになりました。6月には第1回小学生選手権大会が開催され、この大会で8位入賞者の選手は岐阜県最大の大会である県選手権大会に招待されます。またこの小学生選手権大会開催を記念して小学生対象にTシャツを作り販売しました。

Tシャツの背中に印刷された24番という番号にはある願いが込められています。それは国民体育大会、全国都道府県対抗駅伝競走大会で岐阜県代表選手として24番のナンバーカードをつけ、全国で活躍できる選手に育ってほしいという願いです。

## ■岐阜陸上競技協会創立70周年記念式典・祝賀会／7月2日(土)

今年創立70周年を迎え、都ホテルにおいて式典・祝賀会を举行します。岐阜陸上競技協会が無事70周年を迎えることができましたのもひとえに皆様方のご支援ご助力の賜物と深く感謝しております。

今回は大きな事業は行いませんでしたが70周年を記念して岐阜陸上競技協会記念バッジを作成しました。ぜひゴールドに輝くバッジをご購入ください。



これからも新しいことに挑戦していきたいと考えております。  
皆さまのアイデアをぜひお寄せください。

(委員長 藤村 純子)

## 財務委員会

2012年の「ぎふ清流国体」においては、準備から開催へと、支出増にも計画的に対応することで、競技役員の皆様の団結力により、ボランティア精神を大切に、大成功に閉幕しました。

その後、2013年の法人化に伴い、財政運用の健全化・透明性も含め各種改定を重ねる中、黒字転換を目指すことを第一目標に運営してまいりました。

大きな変化・取組としては、「距離換算における交通費等の基本計算見直し」(道路整備による道路事情の変化に伴うもの)、「昼食や必要備品・消耗品を整備する中での競技役員の待遇改善」(消耗品の管理と使用状況確認)、「予算・決算における勘定科目の整理と適正な運用確認」、を目標として実施してきました。具体的には、増収対策として①小学生の登録制度導入、個人登録料の見直し、②参加料の値上げ、③大会掲示によるバナー広告の獲得などを実施してきました。

### 80周年に向けての目標

#### I 魅力ある事業展開による陸上競技人口、愛好者の拡大

普及との連携により、小学生から一般まで、競技会への幅広い参加に向け、競技環境を拡充し、収入増益を図る。

#### II 選手強化の充実

岐阜からオリンピック出場選手の輩出を目指し、金銭面において、普及・強化の充実に貢献する。

以上、健全で透明性のある財政運営を目指すとともに、適正な財政支援による事業の充実を図り、岐阜の陸上競技の発展に繋げていくことを目指していきます。今後とも、ご支援、ご協力、お願いいたします。

(委員長 奈波 宏和)

## 審判委員会

### 1.はじめに

2015年度は、全国規模の大きな大会を開催しましたが、主催団体から感謝の言葉をいただけるほど、岐阜陸協の審判技術の高さを示すことができました。お疲れ様でした。そして、今年度もよろしくお願いいたします。

2016年度は、全国規模の大会を主催する予定はないですが、県内や東海地区の大会は毎週のようにあります。2016年度も暑い日も天候が悪い日もあって、大変かと思いますが、岐阜の陸上競技の発展のためによりしくお願いします。

### 2.審判委員会組織

委員長 脇田篤実

副委員長 正村菊雄

馬場保(駅伝/道路委員長 西濃地区)

編成担当 正村菊雄(岐阜地区) 山本裕史(高体連)

宇佐見成司(中体連)

地区編成委員 上野悟一郎(中濃地区)

長谷川清高(東濃地区)

桑原宏之(飛騨地区)

勝川誠(高体連) 中寫菊太郎(高体連)

安藤精(中体連)

旅費会計 加藤友仁

### 3.これまでの課題から2016年度に向けて

審判委員会として、2016年度の取り組み目標として、次の4点を考えています。各地区、各団体の方にはいろいろとお世話をかけますが、よろしくお願いいたします。

①審判数の維持・増員のために、各登録団体から、一人以上のB級公認審判員取得講習会に出席していただき、公認審判員になっていただく。(陸協登録と審判実習を3回以上が必要となりますので、年度当初から計画的にお願いします。)

②小学生競技者登録の開始に伴い、少年団コーチの方は陸協登録、審判登録(育成)をお願いします。

③開催地区所属の審判員を中心に審判を編成する。どの部署も主任は担当地区から出します。

④世代交代をしていく。主任をおおよそ40代にし、副主任にベテランを配置します。

このようなことを行っていくしますので、よろしくお願いいたします。

### 4.今年度の主なルール変更

#### ①スタートのやり直し

昨年までトラック競技でのスタートにおいて、不適切スタートの場合、該当選手に注意をしてきましたが、今年度から不適切スタートという考えはなくします。不正スタートではない場合は、すべて『グリーンカード』を示し、スタートのやり直しを行います。

#### ②着差は1/1000秒

これまで、トラック競技での記録において、同記録の場合、タイムを精査し、2/1000秒以上を着差ありとしてきましたが、1/1000秒でも差があれば、着差ありとします。

(委員長 脇田 篤実)



競技委員会

平成28年度において20の岐阜陸協主催競技会運営と、その他11の競技会において運営協力を行います。

概ね例年通りの年間計画となっていますが、大きな変更点としては昨年度まで21年に渡って実施してきましたジュニア地区対抗陸上競技大会(11月3日)を、小学生の陸協登録に連携して、第1回岐阜県小学生陸上競技選手権大会(8位入賞者は第81回岐阜県陸上競技選手権大会招待)として実施することがあげられます。また強化・普及100m・フィールド記録会は普及記録会と

して小学生種目を加えた形で実施します。このように今年度は小学生大会や記録会を充実させ、未来の岐阜陸協を背負うタレント発掘や育成の場として発展させていくためのスタート元年となっています。

11月3日には岐阜県秋季陸上競技記録会を新設し、トラック&フィールドの今シーズン締めくくりとなる記録会として多くの選手に出場していただけることを期待しています。

今年度は全国規模の大会運営はありませんが、会員の皆様に陸上競技を「楽しんでもらえること」を目標に、昨年度までの経験を生かしながら運営技術の向上に努めたいと思います。

〈平成28年度 競技委員会事業計画〉

| No. | 期 日                              | 場 所        | 事 業 名                                                                                   | 事 業 内 容                                                                                    |
|-----|----------------------------------|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 4月 2日(土)                         | 長良川        | 岐阜陸協普及記録会①                                                                              | 昨年度までの強化・普及100m・フィールド記録会を発展させ、小学生種目を加えて実施する。                                               |
| 2   | 4月10日(日)                         | 星ヶ台<br>長良川 | 岐阜県春季陸上競技記録会<br>兼第71回岩手国体選手選考会①                                                         | できるだけ多くの選手が参加できるよう2会場で開催する。中学男子6種目、女子6種目、一般高校男子8種目、女子8種目で実施する。                             |
| 3   | 4月16日(土)                         | 長良川        | 第9回澤田文吉記念棒高跳競技会<br>第37回岐阜県春季陸上競技大会<br>兼第71回岩手国体選手選考会②                                   | 澤田杯棒高跳競技会を中心に、中学男子4種目、女子4種目、一般高校男子7種目、女子6種目の他男子110mJH、女子100mYHを実施する。                       |
| 4   | 4月24日(日)                         | 長良川        | 第44回ぎふスポーツカーニバル                                                                         | 小学生男女各4種目、中学男子5種目、女子5種目、一般高校男女リレー各2種目で実施する。                                                |
| ※   | 5月 7日(土)<br>5月 8日(日)             | 長良川        | 中部実業団対抗陸上                                                                               |                                                                                            |
| ※   | 5月15日(日)                         | 長良川        | 高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン                                                                        |                                                                                            |
| 5   | 5月28日(土)<br>5月29日(日)             | 浅中         | 第45回岐阜県中学生学年別陸上競技大会<br>兼第43回全日本中学校陸上競技選手権大会予選会(四種競技)                                    | 1年男女各4種目、2年男女各2種目、3年男女各2種目、2・3年男子種11目、女子7種目(四種競技を含む)、共通男女リレーで実施する。                         |
| ※   | 6月5日(日)                          | 長良川        | 岐阜県障がい者大会                                                                               |                                                                                            |
| ※   | 6月5日(日)                          | 星ヶ台        | 東海マスタース・岐阜マスタース陸上                                                                       |                                                                                            |
| 6   | 6月12日(日)                         | 浅中         | 第1回岐阜県小学生陸上競技選手権大会                                                                      | 昨年度までのジュニア地区対抗から発展させ、男女各13種目実施する。<br>最優秀選手には土屋賞を、8位入賞者には県選手権出場権を授与する。                      |
| ※   | 6月17日(金)<br>6月18日(土)<br>6月19日(日) | 長良川        | 東海高校総体                                                                                  |                                                                                            |
| 7   | 6月25日(土)<br>7月 2日(土)<br>7月 3日(日) | 長良川        | 第81回記念岐阜県陸上競技選手権大会<br>兼第59回東海陸上競技選手権大会予選会<br>兼第71回岩手国体選手選考会③                            | 東海選手権予選及び国体選考を兼ねて男子20種目、女子19種目とリレー男女各2種目、国体選考少年種目4種目、招待小学生男女各13種目を実施する。<br>定通制高校総体を同時開催する。 |
| 8   | 7月 9日(土)<br>7月10日(日)             | 長良川        | 第62回全日本中学校通信陸上競技岐阜県大会<br>兼第43回全日本中学校陸上競技選手権大会予選会<br>兼第71回和歌山国体選手選考会④                    | 全国大会出場標準記録突破を目指して、男子16種目、女子12種目で実施する。                                                      |
| 9   | 7月17日(日)                         | 長良川        | 第32回全国小学生陸上競技交流大会岐阜県予選会<br>第34回岐阜県陸上スポーツ少年団・小学生交歓陸上競技大会<br>兼第19回全国小学生クロスカントリーリレー大会選手選考会 | 全国大会岐阜県代表を目指して男女7種目で実施した。<br>スポーツ少年団交歓陸上も併せて実施する。                                          |
| 10  | 7月23日(土)                         | 長良川        | 岐阜陸協普及記録会②                                                                              | 今年度2回目の普及記録会として実施する。                                                                       |
| 11  | 8月 6日(土)                         | 長良川        | 岐阜陸協強化記録会①<br>兼第71回岩手国体選手選考会⑤                                                           | 和歌山国体の最終選考会をかねて、男子15種目、女子16種目で実施する。                                                        |
| ※   | 8月21日(日)                         | 長良川        | 西日本薬大会                                                                                  |                                                                                            |
| 12  | 9月 3日(土)                         | 中池         | 第20回岐阜県ジュニア陸上競技大会                                                                       | ジュニアオリンピックへの選手選考を含み各学年と共通の4種別男女各15種目で実施する。                                                 |
| 13  | 9月 4日(日)                         | 中津川        | 第40回岐阜県秋季陸上競技大会                                                                         | 男子14種目、女子13種目を実施する。                                                                        |
| ※   | 9月25日(日)                         | 中池         | 県民スポーツ大会                                                                                |                                                                                            |
| 14  | 10月 1日(土)                        | 長良川        | 第46回岐阜県中学生新人陸上競技大会                                                                      | 1年・2年男子各4種目、1年・2年女子各4種目、共通男子7種目、共通女子4種目で実施する。                                              |
| ※   | 10月 2日(日)                        | 長良川        | 特別支援学校 チャレンジ陸上                                                                          |                                                                                            |
| ※   | 10月 9日(日)<br>10月10日(月)           | 長良川        | 第43回東海学生陸上競技秋季選手権大会                                                                     |                                                                                            |
| ※   | 10月15日(土)                        | 星ヶ台        | 中部実業団選手権 多治見フェスティバル                                                                     |                                                                                            |
| 15  | 10月16日(日)                        | 県庁～羽島      | 第8回ぎふ清流都市対抗駅伝競走大会                                                                       | 第8回都市対校駅伝として、岐阜県庁～羽島文化センター折り返し2往復で実施する。                                                    |
| 16  | 11月 3日(木)                        | 長良川        | 岐阜県秋季陸上競技記録会                                                                            | トラック&フィールドの最終記録会として、小学生男女各5種目、中学生男女各1種目、高校生男女各1種目、中高一共通男女各9種目で実施する。                        |
| 17  | 11月20日(日)                        | 中津川～多治見    | 岐阜県駅伝選手権 中山道東濃駅伝競走大会                                                                    | 第4回岐阜県駅伝競走大会として実施する。                                                                       |
| ※   | 11月27日(日)                        | 県庁～羽島      | 東海高校駅伝                                                                                  |                                                                                            |
| 18  | 12月 3日(土)                        | 長良川        | 岐阜陸協長距離記録会<br>兼全国都道府県対抗駅伝選考会                                                            | 長距離記録会(男子3種目、女子3種目)同時に男女中学生の全国都道府県駅伝の代表を決定する最終選考会を実施する。                                    |
| 19  | 12月17日(土)                        | 長良川        | 第67回月例長距離記録会(第一次)                                                                       | 男女各3000m、5000mの2種目を一次大会として実施する。                                                            |
| 20  | 1月28日(土)                         | 長良川        | 第67回月例長距離記録会(第二次)                                                                       | 男女各3000m、5000mの2種目を二次大会として実施する。                                                            |

※印は共催・運営協力等

(委員長 日下部 光)

## 強化委員会

昨年度から引き続き、強化委員長をやらせていただきます。よろしくお願いいたします。昨年度の反省からも、本番で力を出し切れる本物の強さを求めていきたいと考えます。

「東京オリンピック出場選手の育成＝岐阜の未来を背負う人材の育成」を大きな目標とし、昨年度よりスタートをさせて頂きました。また3年前からは中学強化部の指揮をとらせて頂き、「自立型人間＝優秀選手、優秀な中学生、優秀な人づくり」をテーマとして取り組みを進めていきました。

競技力の向上、記録の向上、それを求めるのも我々の大きな役目ではありますが、そこだけを求めていけば、一時は素晴らしい一陸上競技者であってもおそらく長続きはしていきかないでしょう。そんな選手(人材)を求めているのは本物の強いチームづくりにはならず、年々よい年もあれば一気に悪くなる時もあるように感じます。

「人としての成長＝競技力の向上」でなければならないのです。我々はこの方程式をもとに、求めていかなければならないように感じます。

そこで「心・体・技」と大きく3つに分け、その一つ一つを分析していきます。競技力は「技」の部分となり、その下に大きな「体力」その下にもっと大きな「心」が存在します。その「心」が大きく一選手を成長させ、長続きができ、そして一人の人としてどのような場面でも活躍ができる力を身につけると考えます。

では「心を育てるにはどのようにしたらよいのか?」挨拶をする。礼儀を正しくする。それは当たり前なこと、どこかの学校や県でも取り組んでいます。「自分の弱さは何なのか?」「それを克服するためにはどんな行動をしたらよいのだろうか?」そんな自分を見つめさせ、必要であることを毎日継続させることで本当の強い心を創り上げていきます。例外を創ってはいけません。何があろうと続けるのです。そんな強い意志と行動力が自分への自信となり、競技ではもちろんそれ以外でも堂々と行動できるようになっていきます。そんな心を作りながら、必要な体力を考え、自分の種目には「どの筋力が必要なのか?」「どんなトレーニングをやらねばならないか」を、自ら実感し、そのうえにより早く、より遠くを求めるために技術論を考えていきます。

そして何よりも選手に求める前に指導をするスタッフが理解し、力をよりつけていかねば、選手は成長していくはずがありません。スタッフ自身がよく考え、よく学び、より自信を持って指導に当たれるようにお互いに力をつけていく必要があります。指導者以上に選手は成長することはできません。そのために我々は「日本一のスタッフ」を目指していかなければならないと考えています。

このような取り組みを継続させて頂きましたが、選手自身も全国での入賞を狙える選手が随分と増え、人としての成長も多く見られるようになってきました。また我々のこの取り組みを評価していただき、他県からも多くの指導者が見学にきていただけるようにもなってきました。

このような取り組みを前提に、小、中、高の連携を確立させ、岐阜県独自の方法を創り出し、息の長いチーム作りをしていけると考えています。そして昨年達成できなかった岩手国体70点の獲得を目指していきます。そして目指すは東京オリンピックです。ご指導、応援をよろしくお願いいたします。

(委員長 森 光弘)

## 普及委員会

普及委員会の主な活動は、陸上競技教室や競技会運営を通して、小中学生の普及振興にあたることです。また、その機会に有望競技者の発掘をしたり、指導者の研修の充実を図ったりすることです。

平成28年度にあたって、普及委員会では、以下の活動を計画しています。

### 1.各地区における練習会

岐阜・西濃・東濃・美濃・可茂・飛騨の6地区ごとに分かれて、年に10回程度の合同練習会、陸上教室、記録会を計画しています。そこで、より多くの小中学生に、「より速く走ったり、より遠くに跳んだり、投げたり」する陸上競技の楽しさを広めていきたいと考えています。また、初心者から上級者まで、競技レベルに応じた練習、種目ごとに技術力向上を目指した専門練習、さらには冬季練習や補強の行い方など様々な状況に対応した練習を習得させていきたいと考えています。

### 2.有望選手を対象とした強化練習会

小学生の全国大会出場者を対象とした合宿、中学生の東海・全国大会に出場し、入賞を目指した普及・強化合宿や練習会を計画しています。この活動を通して、優秀な選手のさらなる競技力向上にも努めていきたいと考えています。

指導は、各地区の普及委員会メンバーが中心となり、各スポーツ少年団、各学校の指導者が協力しながら行っています。時には外部から優秀な選手や指導者を招いて陸上教室を行うときもあります。

### 3.指導者研修会

地区ごとの練習会や強化練習会を通して、学校ごとに行っている練習の方法をお互いを知ることで交流の場ができると考えています。そして、より効率のよい指導方法の研修の場になればと考えています。また、優秀な指導者から理論やその理論を身につけるための練習方法を学ぶ機会を通して指導方法の向上も図っています。

今年度は、日本陸連主催によるU-16指導者講習会も計画しており、指導技術の向上を図っていききたいと考えています。

### 4.大会運営の充実

練習の成果を発揮できる場の1つとして、6月に行われる第1回小学校選手権大会、7月に行われる全国小学生陸上交流大会岐阜県予選会、岐阜県陸上スポーツ少年団・小学生交歓陸上競技大会兼全国小学生クロスカンтриーリレー大会選手選考会の企画・運営をしています。より多くの皆さんが気軽に参加できるような大会、選手の皆さんが良い記録ができるような大会運営を目指していきたいと考えています。

普及委員会としては、一人でも多くの仲間が、陸上競技と出会うことができるように、また、陸上競技に出会った多くの人が陸上競技の楽しさを知ることができるような機会を作っていきたいと思っています。そして将来、日本の世界のトップアスリートが岐阜県から生まれてくることを期待しています。

(委員長 久川 直之)

## 駅伝・道路競技委員会

### 第8回ぎふ清流都市対抗駅伝競走大会開催に向けて

県内各地域(郡市等)相互の交流の促進・スポーツに対する県民意識の高揚を図るとともに、国体選手や長距離選手の発掘・育成及び全国都道府県対抗駅伝等の選手強化を目的として開催している、ぎふ清流都市対抗駅伝競走大会を本年度も10月16日(日)に開催予定ですが、コースの一部を見直し、30郡市すべてのチームの参加を求めるために12区間から9区間に変更し開催に向けて現在準備中です。

#### ◆変更点

※現在のコース、中継点を基本として、スタート、折り返し地点の見直し、2往復目を小熊コミュニティセンターで折り返すコースとします。(42.195kmを32.3kmに)

※各カテゴリを男女各1名とします。(40歳以上は別)

#### 〈区間・内容〉

|            |             |              |       |
|------------|-------------|--------------|-------|
| 第1区(高校女子)  | 岐阜県庁        | ～ カネヒロ       | 5.5km |
| 第2区(小学女子)  | カネヒロ        | ～ 小熊コミ       | 1.5km |
| 第3区(中学女子)  | 小熊コミ        | ～ 羽島市文化センター西 | 2.2km |
| 第4区(40歳以上) | 羽島市文化センター西  | ～ 小熊コミ       | 2.2km |
| 第5区(小学男子)  | 小熊コミ        | ～ 聖徳学園大学前    | 1.6km |
| 第6区(高校男子)  | 聖徳学園大学前     | ～ 岐阜県庁       | 5.4km |
| 第7区(一高男子)  | 岐阜県庁        | ～ カネヒロ       | 5.5km |
| 第8区(中学男子)  | カネヒロ ～ 小熊コミ | ～ 聖徳学園大学前    | 3.1km |
| 第9区(一高女子)  | 聖徳学園大学前     | ～ 岐阜県庁       | 5.3km |

#### ◆今後の課題

今後の大会の盛り上がりを見ながら、高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソンコースを基本としたコースで、第10回大会後を目安に今から検討を進めます。

(委員長 馬場 保)

## 記録・情報処理委員会

新年度になり、気持ち新たに目標を設定しました。昨年度までの経験を踏まえ、記録・情報処理委員会では、以下のことを実行していきたいと思っています。

この1年で1番大きな作業は、過去70年分の紙の資料をデータ化し、煩雑になっている記録管理を一元化することです。記録をデータ化することで情報を整理しやすくし、作業効率を上げて、記録を何かしらのサービスとして提供したいと思います。

10傑表のリニューアルや、ホームページを活用した新しい情報提供サービスの開始など、パソコンを活用した内容を充実させていきたいと思っています。

また、地区をまわって記録・情報処理に関わる審判員の育成に努めたいと考えています。審判員として活躍したいという方がいらっしゃれば、審判資格が無くても研修という形で参加できますので、ぜひ競技会に参加をしていただきたいと思います。

すでに審判員として活躍されている方々も、手書きでの競技会運営をしているけれど、そろそろパソコンで処理をしたい、記録集や決勝一覧表を楽に作成したい等、何かお困りのことがございましたら、ご連絡ください。

#### 〈平成28年度活動内容〉

##### ①70年分の記録整理

- ・岐阜陸協過去70年の記録をデータ化
- ・紙データ保存方法の検討

##### ②10傑作成

- ・リニューアルを実施(タイトル変更、内容の見直し)
- ・読み手のターゲットを明確にし、見やすい、わかりやすいを重視

##### ③ホームページを活用した新しい情報提供サービスの開始

- ・年度途中でのランキング発表(県選手権前、国体前など)
- ・記録ページの充実

##### ④地区レベルでの情報機器活用促進・人材育成

- ・競技会運営研修、事前準備・公認申請データ作成研修

(委員長 山下 和行)

## 施設用器具委員会

昨年度は、ぎふ清流ハーフマラソン、岐阜メモリアルセンター長良川競技場等、岐阜陸協上競技協会としても重要な検定が集中しました。すべて合格し公認施設として継続されることになりましたが県内に検定員が不在であるため、他県からの派遣により検定業務を行いました。

今年度も検定員は他県からの派遣により行い、その補助としての役割である区域技術役員は松田哲明、堀一智が検定業務を行うことになります。但し、長距離競争路の検定については他県から2名の自転車計測員の派遣により検定を行います。

#### 〈検定員の制度について〉

各都道府県に検定員は1名、区域技術役員については2名、自転車計測員は検定員又は区域技術役員のどちらかが行うことになっています。(各都道府県1名)

区域技術役員を3期以上(6年)努めると検定員に昇格することができます。この場合、区域技術役員に欠員が出てしまうため補充が必要となります。

次期区域技術役員候補を募集しております。検定業務に興味のある方、施設用器具委員長まで気軽にお申し出ください。

#### 〈平成28年度検定予定箇所〉

- ・いびがわマラソン(フル・ハーフ) 公認期限9月19日
- ・多治見市星ヶ台陸上競技場(第2種) 公認期限7月31日

いびがわマラソンについては5年前と同様に自転車計測により検定を行います。



多治見市星ヶ台陸上競技場は走路の全面改修を予定しており、工事着手の遅れにより、検定の延期願いを提出し、10月の中部実業団陸上競技選手権大会兼多治見フェスティバルに間に合うよう検定を予定しております。



IAAF 高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン認定書

(委員長 松田 哲明)



(委員長 浅野 美津子)

## 女性委員会

### 平成28年度の活動方針・計画

#### (1) 託児室の開設

託児室開設予定競技会(5競技会8回、長良川競技場のみ)

- ① 4月 24日(日)           ぎふスポーツカーニバル
- ② 5月7・8日(土・日)    中部実業団対抗陸上
- ③ 6月 25日(土)        岐阜県選手権
- 7月2・3日(土・日)        〃
- ④ 8月 6日(土)        強化記録会
- ⑤ 11月 3日(木祝)     秋季記録会

#### (2) 女性委員会開催

女性審判員の増員、養成の広報活動

女性競技者の支援

女性委員会の平成28年度の活動としましては、上記2点を中心に活動を進めていきたいと考えています。特に託児室開設の充実を図りたいと考えています。昨年度は開設予定日すべてに託児希望がありました。男性審判員からの依頼も増えています。これは託児室開設の需要があるということであり、結果的には試合運営の一助につながっていると感じています。まだ利用はありませんが、競技者の方からの託児依頼にも答えたいと考えています。

また女性審判員の増員も考えていきたいと考えています。

#### 託児室利用者の声

毎回利用させてもらっています。審判に出たいと思って休日に預けられない時があり困っていました。私にとって審判に参加することは、大好きな陸上にかかわれるということで、日頃のストレスを発散できる場です。託児室があることで息子を連れてきても安心して審判ができます。この先、開設日が増えることを願っています。また、息子に友達が増えることを楽しみに利用させてもらおうと思っています。

## 医事委員会

本年度で委員会として設置され2年目となる本委員会は、予算の確保も実現し、組織を固め着実に活動していこうと考えています。

28年3月に実施された「第24回日本陸上競技連盟トレーナーセミナー」に5名が参加し、修了者に認定されました。大会や合宿などで活躍することが期待されます。又、トレーナーとして従事する仲間が増えたことを嬉しく思っています。4月には、本連盟主催大会に看護師派遣依頼を岐阜県スポーツドクター協議会に行いました。5月には、日本陸上競技連盟主催の医事委員研修会へ早野委員が参加し、情報収集し委員会活動の充実を図りました。

「トレーナールーム」開設は、6月の東海高等学校陸上競技選手権大会と7がつの岐阜県陸上競技選手権大会を予定しています。更に、10月の岩手国体へのトレーナー派遣、研修会開催等の事業を計画しています。

今年度も「医事委員会」の活動をご理解頂くとともに、あらゆるご支援とご協力をよろしくお願いします。

(委員長 河島 正弘)



広報委員会

〈組織図(一部変更)〉

| 事 務 局 |            | 地区陸協編集委員 |       |
|-------|------------|----------|-------|
| 委 員 長 | 木下克己       | 岐 阜      | 河野 康彦 |
| 副委員長  | 原 清隆       | 東 濃      | 江崎 尚  |
|       |            | 西 濃      | 土屋 雅敏 |
| 編集委員  | 山田 緑       | 中 濃      | 渡邊 宗治 |
|       | 河野 康彦(※兼務) | 飛 騨      | 坂谷 幸紀 |

〈事業計画〉

- 1.広報誌2号発行  
27年度事業後期分(4月中旬)
- 2.広報誌3号発行  
70周年記念事業に合わせ28年度前期号
- 3.広報誌4号発行  
28年度後期号

| No. | 期 日           | 事 業 名                               | 事 業 内 容                                     | 場 所                | 備 考                                           |
|-----|---------------|-------------------------------------|---------------------------------------------|--------------------|-----------------------------------------------|
| 1   | 4月上旬          | 第1回広報委員会・事務局                        | 3号準備<br>①企画・編集会議<br>②執筆者・各地区陸協原稿依頼<br>発送    | 雪印<br>ビュッフェ<br>その他 | ※2号発送作業                                       |
| 2   | 4月中旬          | 第2回広報委員会・事務局                        | 2号発行作業<br><b>2号発行</b>                       |                    | ※県内外郵送<br>※一般会員への<br>競技会配布                    |
| 3   | 4月中旬<br>～5月中旬 | 第3回広報委員会・事務局<br>地区陸協編集委員会<br>・各地区委員 | ①執筆依頼と<br>執筆作業<br>②原稿1次校正<br>③事務局原稿<br>送付完了 |                    |                                               |
| 4   | 5月中旬          | 第4回広報委員会・事務局                        | ①編集・校正<br>②校正<br>③初稿校正と入稿                   |                    |                                               |
| 5   | 6月中旬<br>～下旬   | 第5回広報委員会・事務局                        | 3号発行作業                                      |                    |                                               |
| 6   | 7月初旬          | 第6回広報委員会・事務局                        | <b>3号発行</b>                                 |                    | ※県内外郵送と<br>70周年記念<br>事業に合わせ<br>県選手権にて<br>一般配布 |
| 7   | 7月中旬          | 第7回広報委員会・事務局                        | 反省会・中間総括                                    |                    |                                               |
| 8   | 29年<br>1月初旬   | 第8回広報委員会・事務局                        | 4号準備会<br>①企画・編集会議<br>②執筆者・各地区陸協原稿依頼<br>発送   |                    |                                               |
| 9   | 1月中旬          | 第9回広報委員会・事務局<br>地区陸協編集委員会<br>・各地区委員 | ①執筆依頼と<br>執筆作業<br>②原稿1次校正<br>③事務局原稿<br>送付完了 |                    |                                               |
| 10  | 2月中旬<br>～2月下旬 | 第10回広報委員会・事務局                       | ①編集・校正<br>②初稿校正と入稿                          |                    |                                               |
| 11  | 3月下旬          | 第11回広報委員会・事務局                       | 4号発行作業                                      |                    |                                               |
| 12  | 4月上旬          | 第12回広報委員会・事務局                       | <b>4号発行</b>                                 |                    | ※県内外郵送<br>※一般会員への<br>競技会配布                    |
| 13  | 4月下旬          | 第13回広報委員会・事務局                       | 反省会・総括                                      |                    | ※5号準備会                                        |

(委員長 木下 克己)

各地区陸協報告

岐阜地区陸上競技協会

平成28年度 岐阜地区陸上競技協会事業計画

本年はジュニア地区対抗陸上競技会が無くなり、岐阜地区も従来の予選会が記録会だけになるため、下記の内容について変更を検討しています。

- 1.競技種目について  
トラック、跳躍、投てき種目について検討する。
- 2.出場種目数制限について  
一人一種目から2種目に変更予定
- 3.小学校については、各地区の代表者より各市、郡、町の教育委員会に依頼し、陸上少年団だけでなく埋もれている小学生の発掘を目的とする。
- 4.陸上競技の普及のため地区開催の練習会を持つ。
- 5.地区理事会を年間3～4回開催  
(理事長 小森 博昭)

東濃地区陸上競技協会

中部実業団陸上競技選手権大会兼多治見フェスティバル

岐阜県開催の実業団の陸上競技大会といえば、例年、春と秋との2回開催されています。

春は岐阜メモリアル長良川競技場で「中部実業団対抗陸上競技大会」が開催されています。この大会は対抗戦で、団体総合、男子総合、女子総合、優秀競技者の表彰等が行われ、全日本実業団陸上競技選手権大会の予選会を兼ねて開催されています。

秋には「中部実業団陸上競技選手権大会兼多治見フェスティバル」が多治見市星ヶ台競技場にて開催されています。秋の大会は標記のように選手権大会として、今年で17回目を迎えます。東濃地区(多治見市)で開催されるようになったのは2003年からです。多治見市開催は今年で14回目となりました。多治見市での開催にこぎつけたのは次のような経緯からです。

- 1.多治見市の積極的な支援体制
- 2.当時の岐阜陸協、東濃陸協役員の努力
- 3.中部実業団陸上競技連盟事務局の理解

上記の条件が整い多治見市での開催が実現することになりました。



大きな大会を開催することで優秀な選手の活躍を目の当たりにすることにより次のような効果を期待しています。

- 1.若いころから一流の競技者に触れることにより、より競技に対する興味・意欲を向上させる。
  - (1) 県内の大学生、高校生が実業団の選手と一緒に競技をすることができるようにし、一流の選手のすごさを肌で感じることができるようにする。
  - (2) 小中学生には、招待の4×100mリレー種目を設け、この競技への出場を目指し意欲を高めるとともに一流の競技選手のレースを観戦する。
- 2.東濃地区で大きな大会を開催することにより地区の競技力の向上を目指すとともに競技審判員の資質向上を図る。
- 3.多治見市として中部各県からの出場選手に多治見市の観光、産業(陶磁器)のPRと、集客力の向上につなげる。

東濃地区陸上競技協会としても中部地区の一流選手を迎え、岐阜陸協の指導のもと、毎年の大会を着実に運営することにより競技審判員の資質向上を図り、中部実業団陸上競技連盟の信頼を得て、今後も大会を継続していけるよう努力してまいります。

(理事長 安藤 功二)

## 西濃地区陸上競技協会

### 1.はじめに

平成28年度が始まり会員一同、西濃圏域の競技力向上と地域活性化を目指し、その決意を新たにしたいところです。

#### ○主な大会予定

|               |           |
|---------------|-----------|
| 第62回西濃陸上競技選手権 | 6月 5日(日)  |
| 大垣市選手権        | 9月22日(木)  |
| 2016いびがわマラソン  | 11月13日(日) |
| おおがきマラソン      | 12月11日(日) |
| 2017年中日西濃駅伝   | 2月19日(日)  |

#### ○新規事業 “おおがきマラソン”

近年の健康志向の高まり等によりマラソンランナーが増加する中、市民だけでなく県外からも多くのランナーにきていただける魅力のあるハーフマラソン大会を実施し、市民の健康増進をはじめ中心市街地活性化を図るものです。

この大会は毎年1月3日に開催していた(城下町おおがき新春マラソン)と(水都おおがき芭蕉マラソン)と合体し発展させるものです。

この大会の特色として“大垣城”と“墨俣一夜城”を結ぶコースで途中には“加賀野の名水”、揖斐川に架かる国重要文化財の“旧揖斐川橋”安八町“の結神社”、“ソフトジャパン”、“奥の細道むすびの地記念館”など見処も多いコースとなっています。

又、小学生以上を対象とした3キロメートルコースも設け、ゲストランナー“千葉真子さん”を招き大いに盛り上げる大会でありますので皆様方の参加をお願いいたします。

### 2.結び

西濃陸協としては 各種の大会を開催することで陸上競技の普及、強化及び地域活性化の一翼を担ってゆければと考えていますが、この目的達成には岐阜陸協と強調をとりながら推進してゆかなければならないと思います。

#### おおがきマラソン2016



(理事長 牧野 安孝)

## 中濃地区陸上競技協会

地区事業として、H28年度から小学生の陸協登録が始まることから小学生を対象としたジュニア育成と選手強化を図っていきます。

小学生、中学生の記録会を初夏と秋の年2回開催します。またスポーツ少年団、クラブチーム、中学、高校との合同練習会を通年で行い、競技力の向上および会員確保を図っていきます。

一般選手の育成強化事業としては本年度美濃地区で開催される県民スポーツ大会および秋季、冬季のロードレースに向けて夏季合宿の一環としてナイター記録会を7月と8月に中池公園陸上競技場で開催します。参加はどなたでも出来ますので是非多くの方に参加をお願いします。

中濃地区陸協として、各市町のマラソン大会にも運営支援や審判員の派遣を積極的に行っていきます。また近年参加チームが減少している駅伝大会の活性化を図るために各市町の駅伝大会の運営支援、協力を行っていきます。多くのチームに参加していただけるよう頑張りますので地域のランナーの皆さん友達を誘って是非参加してください。

本年も、競技者の確保と審判員の高齢化に伴う減少に歯止めを掛けるためにも、高校、大学の卒業生を中心に一般競技者にも声掛けをして一人でも多くの審判員を増やして行きたいと思っています。陸協会員の皆さんの口コミで一人でも多くの方々にご支援、ご協力いただけるようお誘いをお願いします。

- 審判講習会(伝達講習)  
6月4日(土) 13:30～ 中池公園競技場
- 中濃陸上競技大会  
6月26日(日) 9:30～ 中池公園競技場
- ①ナイター記録会  
7月23日(土) 15:00～ 中池公園競技場
- ②ナイター記録会  
8月27日(土) 15:00～ 中池公園競技場
- 中濃地区ジュニア記録会  
10月2日(日) 9:30～ 中池公園競技場
- 中濃駅伝大会  
29年2月5日(日) 10:00～ 中池公園周辺  
(理事長 上野 悟一郎)

飛驒地区陸上競技協会

- 【平成28年度に向けての準備】
- 1月9日(土)  
部長・副部長会議  
●平成28年度競技日程、各部の運営計画検討・立案
  - 1月24日(日)  
第4回:理事会 懇親会  
●部長・副部長会での決定事項について審議・決定
  - 3月19日(土)  
飛驒地区陸上競技協会代議員会(高山市、飛驒市、下呂市)  
●理事会決定事項の伝達・審議・決定

【活動報告】※各競技会に向けてのプログラム編成会議(約2週間前)

| 月 | 期日        | 曜日       | 大会・競技会名                                                           | 会場                 |
|---|-----------|----------|-------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 5 | 3～4       | 火・水      | 第39回:飛驒春季記録会<br>兼 県高校総体飛驒地区予選会<br>飛驒地区陸上競技協会創立50周年記念式典<br>記念誌発行   | 中山陸上競技場            |
| 6 | 4・5<br>18 | 土・日<br>土 | 各地区の陸上競技大会(高山市、飛驒市、下呂市)<br>第45回:飛驒地区中学総体陸上競技大会                    | 各地区の会場<br>中山陸上競技場  |
| 7 | 10<br>16  | 日<br>土   | 第64回:飛驒地区体育大会陸上競技大会<br>第22回:飛驒地区スポーツ少年団交流会<br>第66回:飛驒地区高校総体陸上競技大会 | 中山陸上競技場<br>中山陸上競技場 |

| 月  | 期日           | 曜日          | 大会・競技会名                                                               | 会場                                 |
|----|--------------|-------------|-----------------------------------------------------------------------|------------------------------------|
| 9  | 3<br>4<br>22 | 土<br>日<br>木 | 第1回:飛驒地区陸上スポーツ少年団記録会<br>第48回:飛驒選手権大会<br>第2回:飛驒御嶽ハーフマラソン大会             | 中山陸上競技場<br>中山陸上競技場<br>チャオ御嶽スノーリゾート |
| 10 | 2<br>9<br>15 | 日<br>日<br>土 | 第65回男子・第33回女子:飛驒地区高校駅伝競走大会<br>第38回:飛驒地区秋季陸上競技記録会<br>第24回:飛驒地区中学駅伝競走大会 | 古川町森林公園<br>中山陸上競技場<br>中山陸上競技場      |
| 11 | 6<br>20      | 日<br>日      | 第41回:ひだ金山清流マラソン大会<br>第53回:飛驒駅伝競走大会<br>※ 各地区における駅伝競走大会、マラソン大会等         | 下呂市金山町<br>小坂町～下呂ヶ野<br>各地区の会場       |

【飛驒地区陸上競技協会:創立50周年記念式典】  
(平成28年5月3日)

- 1.開式の言葉
- 2.会長挨拶
- 3.来賓祝辞  
・岐阜陸上競技協会会長:田口利正様  
・高山市長:國島芳明様  
来賓御芳名  
・下呂市長:服部秀洋様  
・飛驒市副市長:小倉孝文様  
・白川村教育長:倉 嘉宏様  
・岐阜陸上競技協会理事:石原好之様  
・岐阜陸上競技協会理事:馬場 保様  
・高山市民活動部部長:高原 透様  
・高山市民活動部スポーツ推進課長:倭 一弘様
- 4.感謝状贈呈  
・高山市様  
・岐阜新聞社様  
・飛驒信用組合様  
・十六銀行様  
・株式会社トーエネック様  
・株式会社ファミリーストアさとう様  
・高山市体育協会様  
・高山信用金庫様  
・飛驒農業協同組合様  
・山和不動産株式会社様  
・飛驒印刷株式会社様
- 5.功労賞授与  
(高山市)・瀬上和雄様  
(下呂市)・赤梅昭三様  
・熊崎康德様  
(飛驒市)・蒲 道博様  
・塚中榮壽様  
・今井昇一様  
・熊崎定義様  
・山ノ内晃様  
・武藤利久様  
・桂木寛明様

6.閉式の言葉  
(理事長 新屋 幹男)

## 関係団体(協力団体)

### 岐阜県中体連陸上競技専門委員会

#### 【中体連の取り組みについて】

##### 1.はじめに

中体連では、「全日本中学校陸上競技選手権大会」と「ジュニアオリンピック」の2つの全国大会で活躍することを大きな目標と考えて、強化選手を毎年、選考して、定期的に強化練習会や合宿を通じて、「技」「体」「心」生活「仲間」を大切にして取り組んでいます。

昨年度の北海道全中では、過去最多の43名の選手が全国大会参加標準記録を突破して、岐阜県選手団として出場することができました。結果は、美濃加茂東の安達楓恋さんの100mH日本一を筆頭に、「日本一1つ、全国大会8位以内の入賞8つ」の成果を残すことができました。

また、ジュニアオリンピックでは、41名の選手が出場することができました。結果は、美濃加茂東の安達楓恋さんの2年100mH日本一、美濃加茂西中の井戸アビゲル風果さんの2年100m日本一、森澤翔樹くんの2年110mH日本一という3つの日本一を同時に獲得することができました。一度に複数(3つ)の日本一を出したことは、岐阜県としても初めての快挙となりました。全体としても、「日本一3つ、全国大会8位以内の入賞8つ」の成果を残すことができました。

全国大会という大舞台において、岐阜県選手団が力を発揮できたのも、日頃の各学校での取り組みと、強化練習会や合宿等で学んだことが上手く結びついて出た結果なのではないかと考えております。今年度も引き続き、全国1位や全国大会入賞者を多数輩出できるように力を入れて取り組んでいきたいと思っております。

#### 2.中体連の取り組みについて

##### (1)強化選手の育成・強化

次年度には、最低でも「全国参加標準記録を突破できる者」、もしくは「それ以上に結果を残せる者」を選考の基準として、「岐阜県強化選手」として選考しております。選ばれた選手は、強化ジャージを着ることができるだけでなく、「強化練習会」「強化合宿」での練習を通じて、県強化スタッフによる各種目での技術指導を中心として、個のレベルアップを図っております。

また、技術面だけの指導ではなく、「全国大会」という舞台でいかに力を発揮できるかを考えたとき、「心」の面の指導を欠かすことはできません。全国大会という場においても、通常の大会と変わらず、戦えるようにメンタル面での指導も入れながら力を入れております。練習会の始めには、必ず「心」の面の指導を必ず入れて、メンタルを鍛えています。そこで大切にしていることは、目標設定用紙に「書く」ということです。書くことで具体的な姿が見えてきて、練習にも意欲的に取り組めるようになると考えております。

##### (2)次年度の全国大会の会場で練習する

全国大会では、岐阜県以外の競技場では、初めての場所での大会となるため、まずは全国大会の会場を知り、そこで練習することが大切であると考え、3月には「来年度の全国大会の会場」で合宿をしています。今年度は、開催県の長野県で合宿を実施しました。自分が数ヵ月後に、この会場で勝負するという気持ちを持たせるためにも、とてもよい取組だと考え、毎年実施しております。会場の雰囲気やトイレの場所、アップの場所など、直接見ることで、安心して本番の大会にも向かうことができます。

##### (3)様々な練習会を設定して取り組む

県強化スタッフだけの指導に留まらず、県外の優秀な指導者に指導していただく場も入れております。投擲では、大阪に合宿に行きました。レベルの高い選手との練習や優秀な指導者の考えを学ぶことで、選手だけでなく、指導者のレベルアップも図ることができます。また、長距離以外の選手は、東海4県と北陸ブロックの合同での合宿にも参加して力をつけてきました。東海大会、全国大会で戦うメンバーと一緒に練習することで、東海大会や全国大会でも顔を知っている選手と戦えることは大きなプラスとなっております。同じ東海ブロックの選手と直接、練習することでライバル意識も高まり、日々の練習にも意欲的に取り組めるようになっております。

#### 3.今後の指導の重点

県強化スタッフを中心に、強化練習会や強化合宿を定期的を実施しながら取り組みを行っております。強化選手を選考する際にも、最低でも全国大会参加標準記録を突破することが一つの条件として選考しております。しかし、昨年度も岐阜県最多の43名の選手が全国大会に参加したものの、全国大会という場で思うように力を発揮できずに終わってしまう選手がたくさんいました。

課題としては、全国大会参加標準記録の突破がかかる「県通信大会」「県大会」が大きな目標となり、そこで一度、ピークが来てしまい、その後、思うように力を発揮できないということが生じています。あくまでも、全国大会に出場することが目標ではなく、全国大会8位入賞を目標にして、指導していく必要があります。また、全国大会では、長距離ではペースが一定ではなく、ラスト勝負の予選があったり、跳躍ではスタート時の高さがいつも以上に高いために跳べなかったりといった状況が生じております。そういう場にも適切に対応できる力をつけられるように、日々の練習においても、練習内容の工夫が求められます。その際には、各学校の顧問と強化スタッフの連携が大切となります。強化練習会や強化合宿等に、各顧問の先生の参加を推進して、連携を図って取り組んでいくことが、今後の中学部の強化において大切になると考えています。

(委員長 吉田 靖)



**岐阜県高体連陸上競技専門委員会****【高体連28年度のスタートにあたって】****〈活動方針〉**

1. 挑戦し続ける、逞しい心を持った選手の育成。
2. 感謝することを忘れない、謙虚な心を持った選手の育成。

この二つを大きな指導方針として、取り組んでいきたいと思います。

昨年末から今年3月末にかけての2回の強化合宿や、跳躍ブロック・投擲ブロックのブロック別練習会では、競技力の向上だけでなく競技者としての姿勢や心構えの指導を重視しました。大一番で力が発揮できる、精神的に強い選手の育成をねらいます。

**〈全国高校総体への展望〉**

本年度の東海高校総体は岐阜県開催となります。昨年度の静岡大会では、男子14種目・女子14種目で入賞し全国高校総体への出場権を獲得しました。今年は地元開催の利を生かし、男女共に20種目の出場を目指したいと思います。

有力選手は、昨年度のジュニアユース大会女子100mで4位に入賞した伊藤有那さんと、女子400mHで6位に入賞した吉田佳純さん（どちらも県岐阜商業）があげられます。二人は3月に広島で行われた全国高体連強化合宿に参加し、全国の強豪選手と共に練習し高いレベルの競技者意識を身に付けてきました。全国総体での入賞が期待できます。

女子100mHでは園原晶さん（恵那）と安達萌乃さん（美濃加茂）がジュニアユース大会に出場しており、全国レベルの競技力があります。園原さんはジュニアユースでは準決勝に進んでおり、昨年度の和歌山総体の経験を生かし、今年に入賞が期待できます。

昨年度は男子・女子ともリレー種目で全国総体に出場することができませんでした。本年度は男子4×100mRでは、昨年の東海高校新人大会において4位に入賞した岐阜聖徳学園高校とジュニアユース大会に出場した県立岐阜商業高校が、女子では4×100mRで県立岐阜商業高校と済美高校、4×400mRは同じく

済美高校の全国総体出場が期待できます。

本年度岡山県で行われる全国高校総体では、昨年の入賞数男子2・女子2・合計4の成績を上回ることを目指します。

**〈全国高校駅伝への展望〉**

昨年度の全国高校駅伝は、京都開催50周年記念大会となり男女各59チームの出場となりました。県勢は土岐商業高校女子が24位と健闘を見せました。本年度は通常の47チームの参加と思われます。（現在未定 7月の全国高校駅伝実行委員会決定）

本年度は東海高校駅伝も岐阜県開催となります。多くの問題を抱えながらも、県庁スタート～羽島市小熊町折返しコースで、県高校駅伝・東海高校駅伝の2大会が開催できることになっています。所轄の警察署のご協力と、コース周辺地域住民の方々のご理解の上に成り立っていることに感謝します。また清流の国推進室から、多くの援助もいただいております。男女とも東海高校駅伝で好成績を上げ、勢いに乗って全国高校駅伝では岐阜県勢として久しぶりの入賞を期待したいです。

（委員長 内田 匡俊）

**次号紹介**

4月上旬発行予定です

**編集委員**

木下 克己  
河野 康彦  
渡邊 宗治

原 清隆  
江崎 尚  
坂谷 幸紀

山田 緑  
土屋 雅敏

